



全国楽器協会 「共通商品コードセンター」

とパソコンで通信可能なソフト (全銀TCP/IP)のご紹介

2012年11月

全国楽器協会情報活用委員会
株式会社 TOKAIコミュニケーションズ



目次

1. 導入編P3
2. 運用編P38

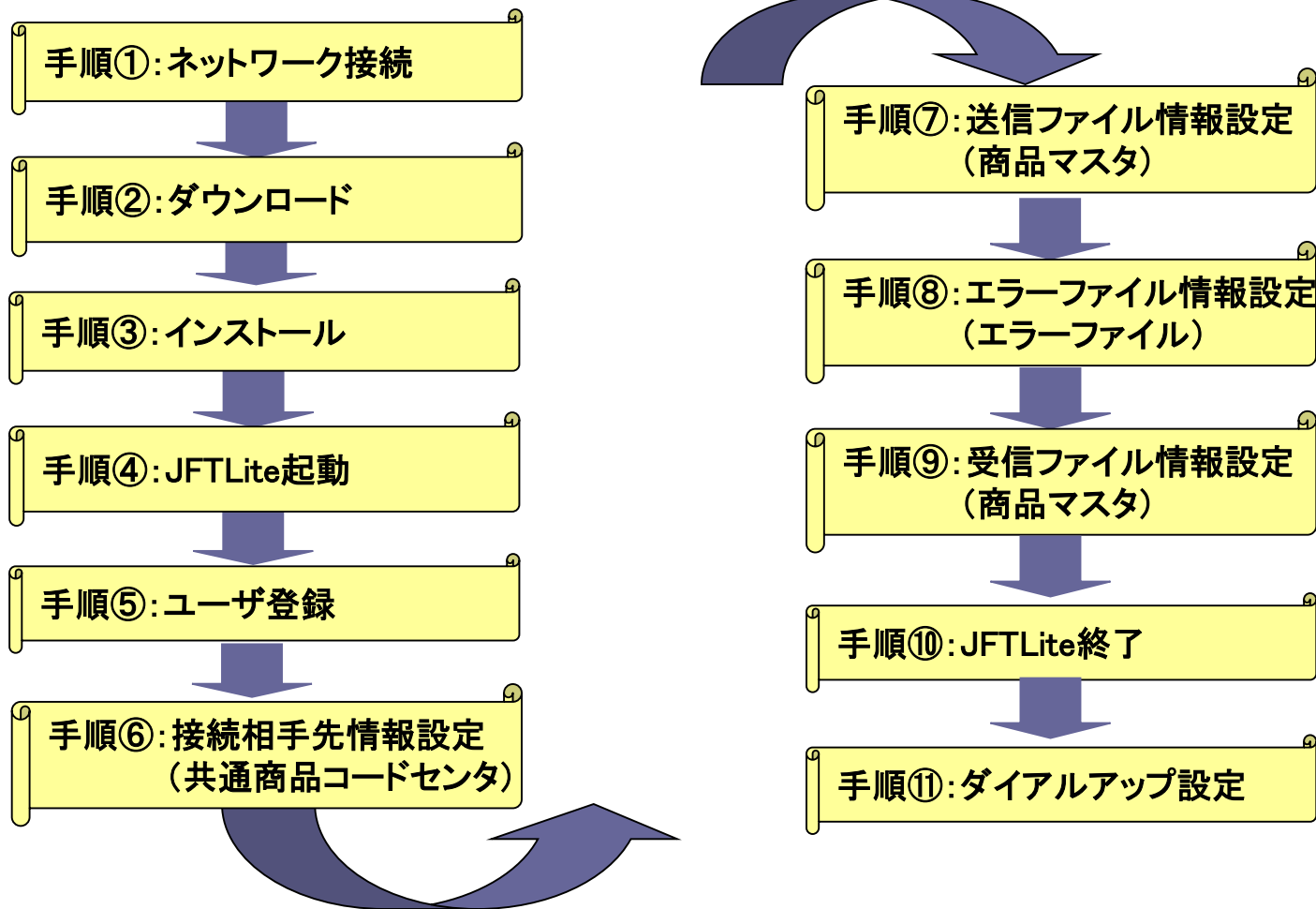
※本資料はPCのOSがWindows2000、ブラウザがIE6.0をベースに記載しております
OSやバージョンによって、若干画面に違いがありますが、類似する項目にて設定を
行って下さい。

※本資料をご利用の前に、共通商品コードセンタ利用通知書を必ずご用意ください。
共通商品コードセンタ利用通知書は(株)JSOL殿より入手してください。

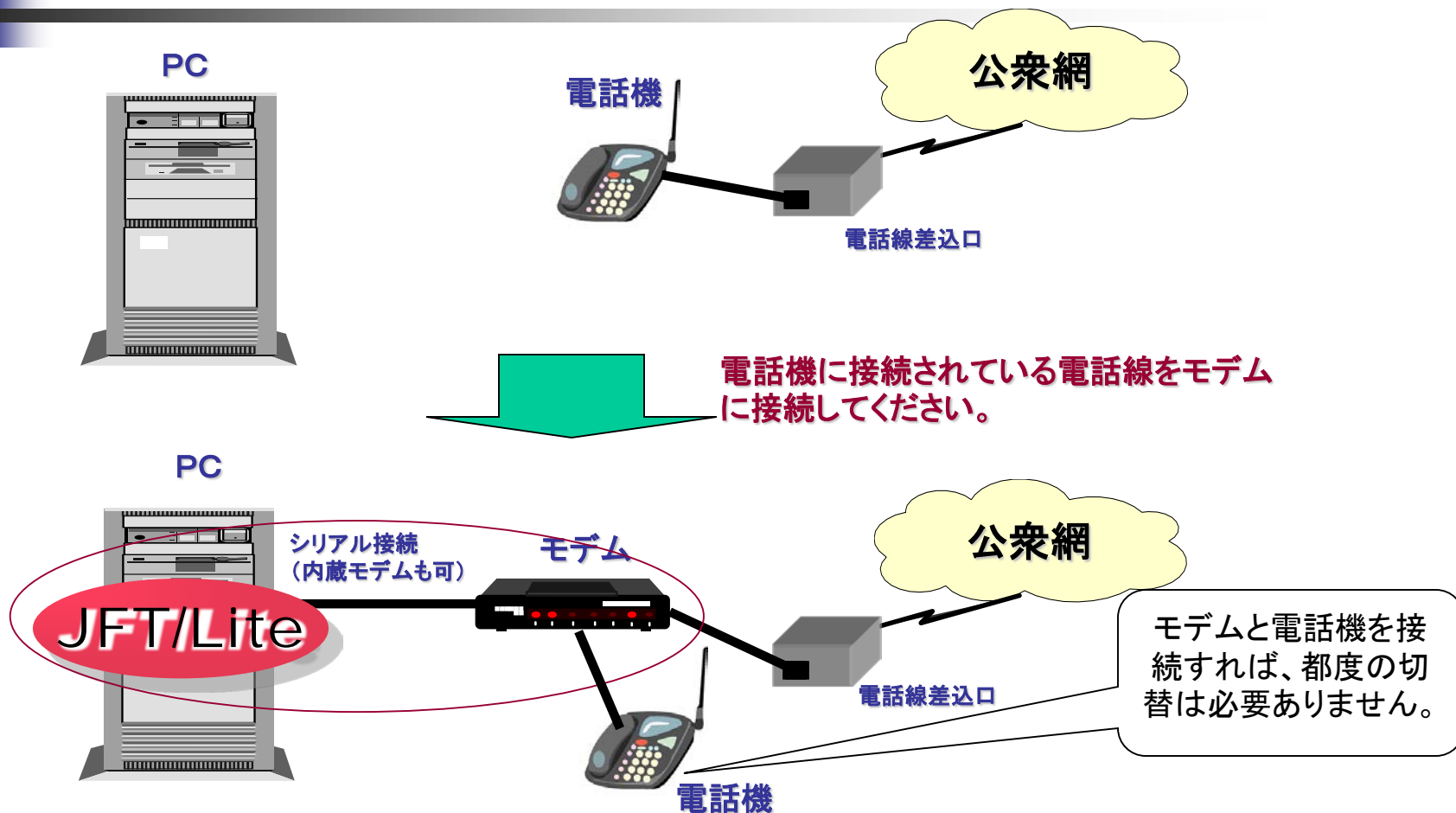


導入編

導入手順



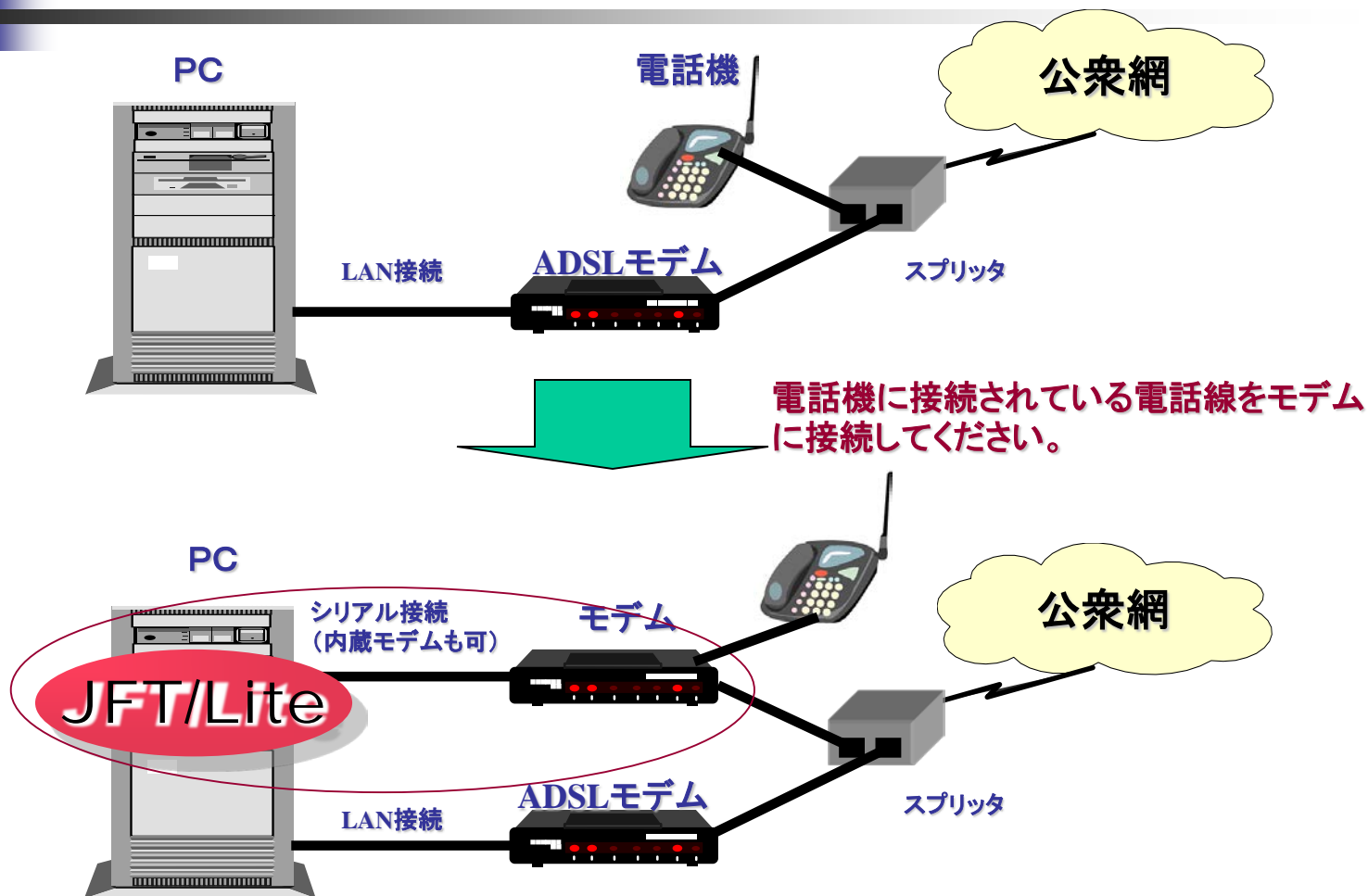
①-1. ネットワーク接続(通常の場合)



ダイヤルアップ接続を行う場合はモデムをご用意ください。なお、PCにモデムが内蔵されている場合は別途ご用意いただく必要ありません。直接PCのモデムポートに接続してください。

(ダイヤルアップ接続中は電話機はご利用できません。)

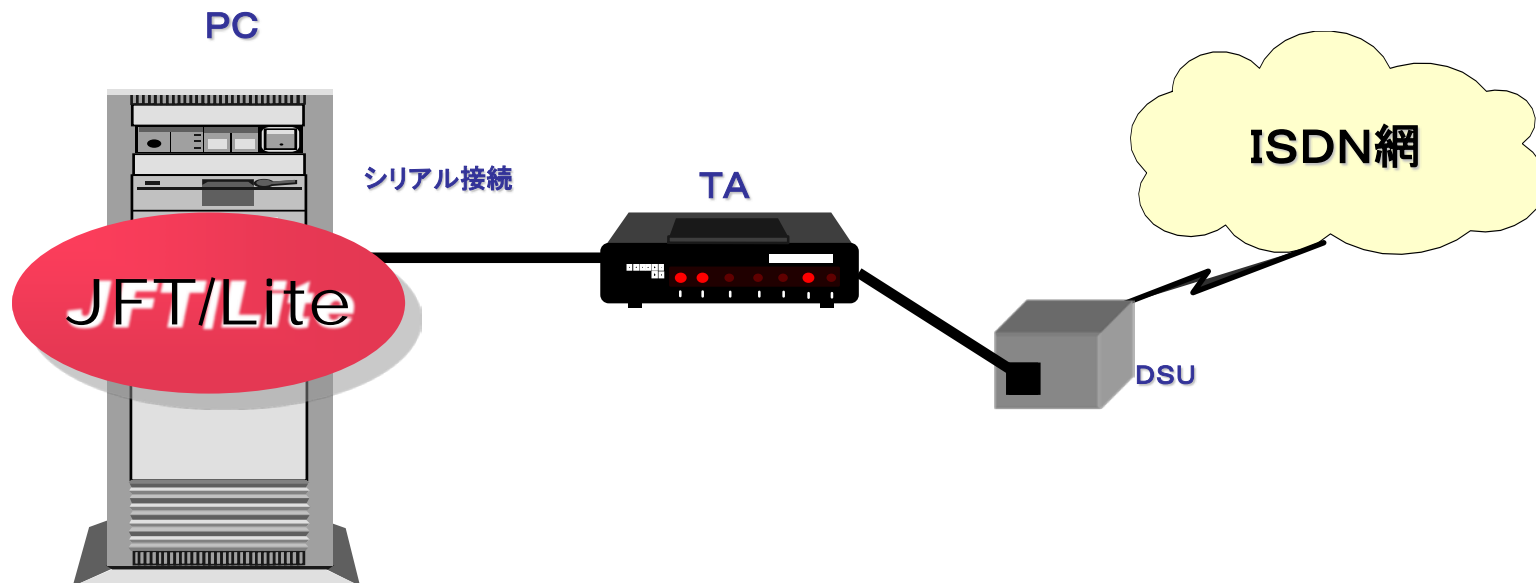
①-2. ネットワーク接続(ADSLをご利用中の場合)



ADSLをご利用中の場合はモデムをご用意ください。なお、PCにモデムが内蔵されている場合は別途ご用意いただく必要ありません。直接PCのモデムポートに接続してください。

(ダイヤルアップ接続中はADSLによるインターネット接続はご利用できません。)

①-3. ネットワーク接続(ISDN接続の場合)



ISDN接続の場合TAをご用意ください。ご利用方法はモデム接続の場合と同じです。
(TAとPCの接続方法につきましては、TAの取扱説明書をご参照ください)



①-4. ネットワーク接続(その他の場合)

①構内交換機回線(内線電話をご利用の場合)

内線電話機のケーブルを外して、モデムに接続しても通信は行えません。
FAX機器等に接続されている、外線電話回線を必ずご使用ください。

②ISDNデジタル回線(ルータ接続をご利用の場合)

ダイヤルアップルータにより、接続を希望される方は、PC設定のほかにルータ側にも設定が必要となります。

(御社ネットワーク担当者様にご相談ください)

②-1. ダウンロード

最初にインターネットに接続して、下記URLのHPをご参照ください。

<http://product.tokai-com.co.jp/jft/>

1. ダウンロードをお選びいただきますと、
ダウンロード専用ページに移動します。

EDYパッケージ | JFT | ダウンロード - Microsoft Internet Explorer
アドレス欄: <http://product.tokai-com.co.jp/jft/download/index.php>

ダウンロード情報

LOCATION HOME >> ダウンロード

CONTENTS

- HOME
- TOPICS
- 製品情報
 - JFT/SaaS
 - JFT/Server WARP
 - JFT/Server
 - JFT/Lite
- 導入実績
- ビジネスパートナー
- サポート情報
- ダウンロード**
- お問い合わせ

ダウンロード

現在、以下の製品/評価版/資料が無償でダウンロードできます。

評価版
本JFT/Liteソフトウェアは、試用期間限定30日間の評価版です。
なお、Version2.0.0で追加されたSOAPインタフェースモジュールは評価版インストールには含まれておりません。SOAPインタフェース機能を利用する場合には、別途「JFT/Lite SOAPインタフェースモジュール」を本サイトからダウンロードしてください。

本ソフトのご利用にあたっては、ご利用前必ずJFT/Lite使用許諾条件をご覧になり、ご了承の上ご利用ください。
→ [使用許諾条件](#)

資料名	説明
JFT/Lite 2.4.1 for Windows	JFT/Lite(Windows用)の30日間評価版です。
JFT/Lite 2.4.1 for Solaris	JFT/Lite(Solaris用)の30日間評価版です。
JFT/Lite 2.4.1 for Linux	JFT/Lite(Linux用)の30日間評価版です。
JFT/Lite 2.4.1 for HP-UX	JFT/Lite(HP-UX用)の30日間評価版です。

再インストールは、必ずアンインストールしてから行って下さい。アンインストールを行う場合は、下記の点に注意して行って下さい。

- 必ずJFT/Liteを停止してからアンインストールを行って下さい。
- アンインストールはUninstallJFTLiteを実行して下さい。

「JFT/Lite 2.4.1 for Windows」
をクリックします。

「JFT/Lite 2.4.1 インストール説明書」
をクリックします。

※必要な場合プログラムのダウンロードの後で
実行してください。

EDYパッケージ | JFT | ダウンロード - Microsoft Internet Explorer
アドレス欄: <http://product.tokai-com.co.jp/jft/download/index.php>

CONTENTS

- HOME
- TOPICS
- 製品情報
 - JFT/SaaS
 - JFT/Server WARP
 - JFT/Server
 - JFT/Lite
- 導入実績
- ビジネスパートナー
- サポート情報
- ダウンロード**
- お問い合わせ

ダウンロード

現在、以下の製品/評価版/資料が無償でダウンロードできます。

評価版
本JFT/Liteソフトウェアは、試用期間限定30日間の評価版です。
なお、Version2.0.0で追加されたSOAPインタフェースモジュールは評価版インストールには含まれておりません。SOAPインタフェース機能を利用する場合には、別途「JFT/Lite SOAPインタフェースモジュール」を本サイトからダウンロードしてください。

本ソフトのご利用にあたっては、ご利用前必ずJFT/Lite使用許諾条件をご覧になり、ご了承の上ご利用ください。
→ [使用許諾条件](#)

資料名	説明
JFT/Lite 2.4.1 for Windows	JFT/Lite(Windows用)の30日間評価版です。
JFT/Lite 2.4.1 for Solaris	JFT/Lite(Solaris用)の30日間評価版です。
JFT/Lite 2.4.1 for Linux	JFT/Lite(Linux用)の30日間評価版です。
JFT/Lite 2.4.1 for HP-UX	JFT/Lite(HP-UX用)の30日間評価版です。

再インストールは、必ずアンインストールしてから行って下さい。アンインストールを行う場合は、下記の点に注意して行って下さい。

- 必ずJFT/Liteを停止してからアンインストールを行って下さい。
- アンインストールはUninstallJFTLiteを実行して下さい。
- 定義情報(resource)、管理情報(repository)、ログ(log)、ツール(tool)は削除されません。

JFT/Liteの再インストール後、以前と同じ定義情報と管理情報を使用した場合は、アンインストール後に同一フォルダへインストールを行います。この際にアンインストールで残った定義情報フォルダと管理情報フォルダは削除しないで下さい。以前の定義情報や管理情報が必要であれば、必要に応じてフォルダを削除して下さい。

旧バージョンのJFT/Lite(評価版)については、こちらお問い合わせ下さい。
ライセンスの購入については[こちら](#)から確認できます。

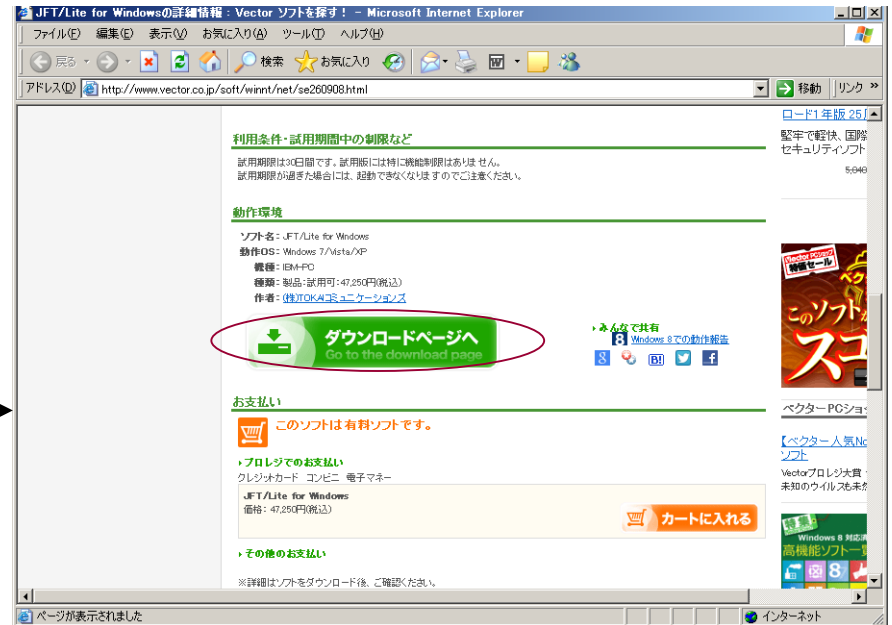
操作説明書

資料名	説明	サイズ
JFT/Lite 2.4.1 [インストール説明書]	JFT/Liteのインストールマニュアルです。(PDF形式)	2059.7KB
JFT/Lite 2.4.1 [機能説明書]	JFT/Liteの提供機能を説明するマニュアルです。(PDF形式)	598.1KB
JFT/Lite 2.4.1 [コマンドインタフェース解説書]	JFT/Liteの提供コマンドや業務アプリケーションとの連携について解説するマニュアルです。(PDF形式)	637.4KB

②-2. ダウンロード



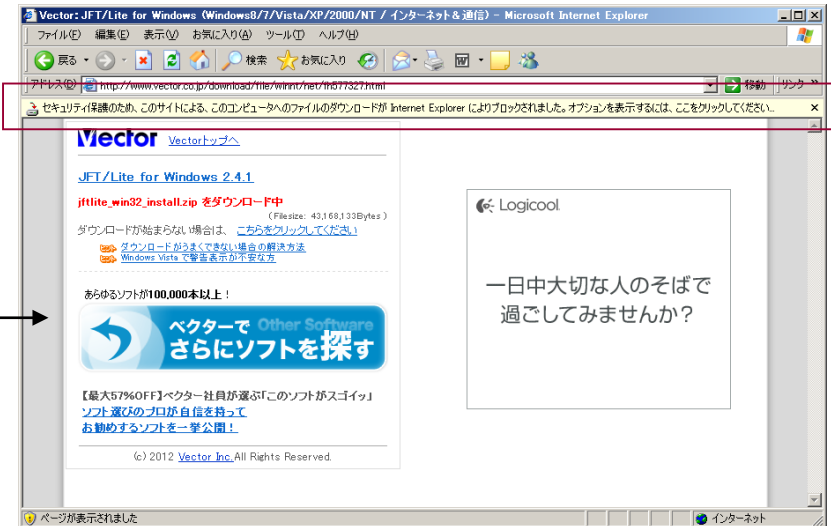
2. 「JFT/Lite 2.4.1 for Windows」をクリックすると左図のVectorのダウンロードページへ移行します。
3. スクロールバーでページを下へスクロールし、「ダウンロードページへ」ボタンを押して、次ページを参照ください。



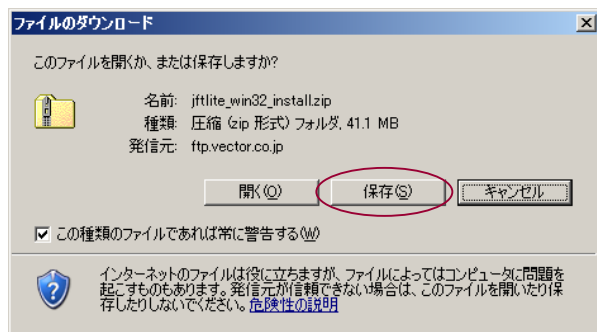
②-3. ダウンロード



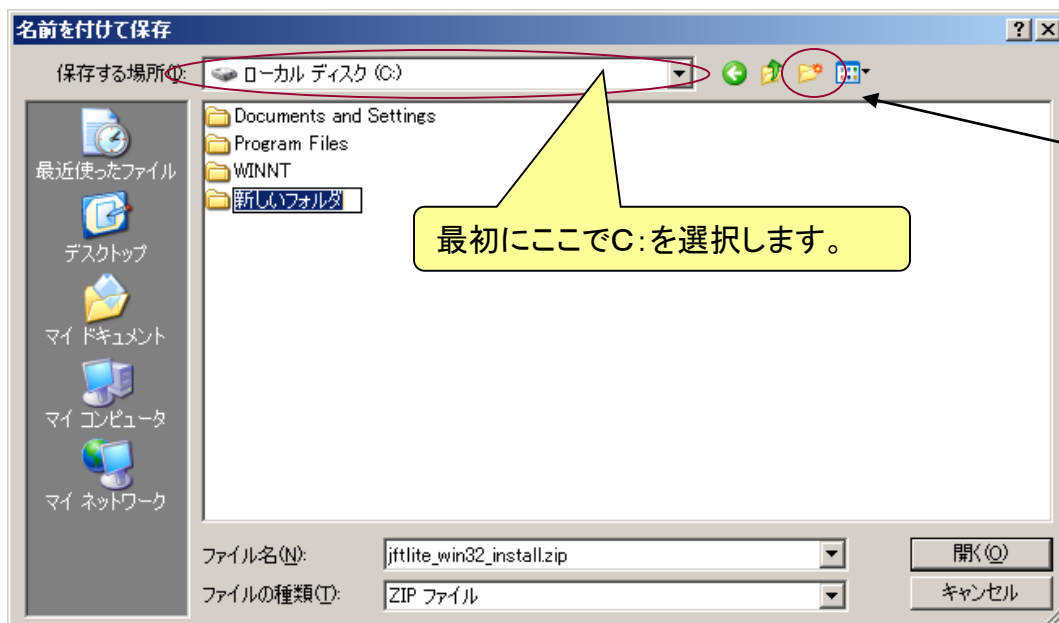
- 32bit環境用と64bit環境用のインストーラのダウンロードページが表示されます。使用環境に合わせて「このソフトを今すぐダウンロード」ボタンを押してダウンロードを開始します。
- IEでブロックされている場合は上部の「セキュリティ保護のため・・・」をクリックし、「ファイルのダウンロード」を選択します。



②-4. ダウンロード

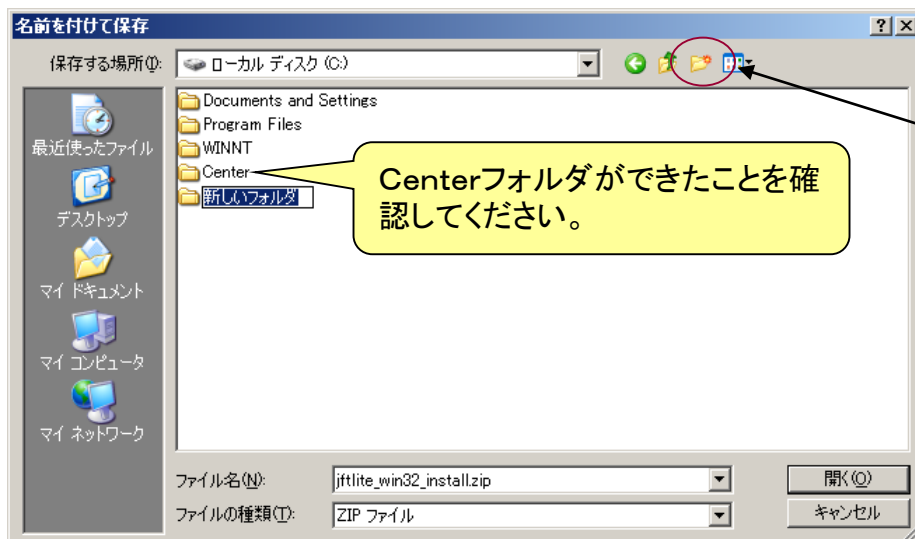


6. 左図のダイアログが出ますので、保存を押します。



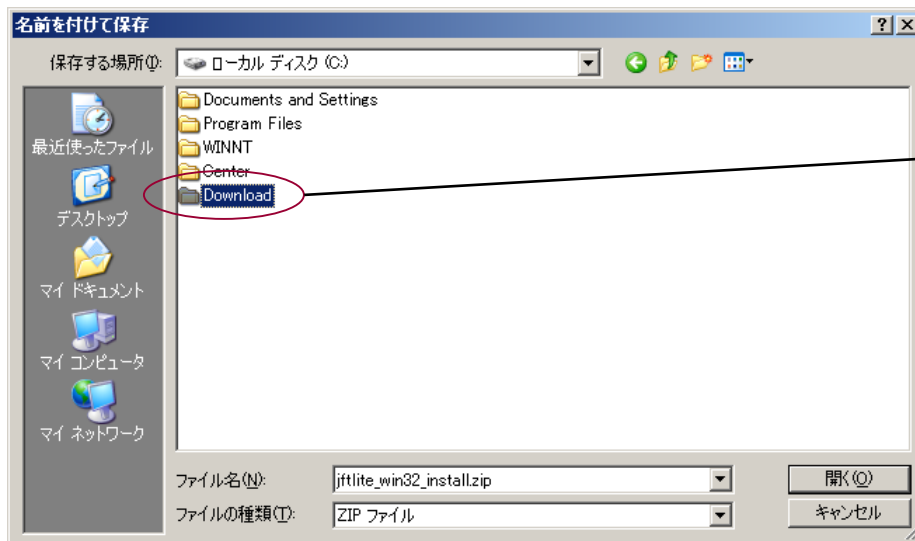
7. C:に移動後、このアイコンを押すと「新しいフォルダ」が作成されます。そのまま「Center」と入力して下さい。

②-5. ダウンロード



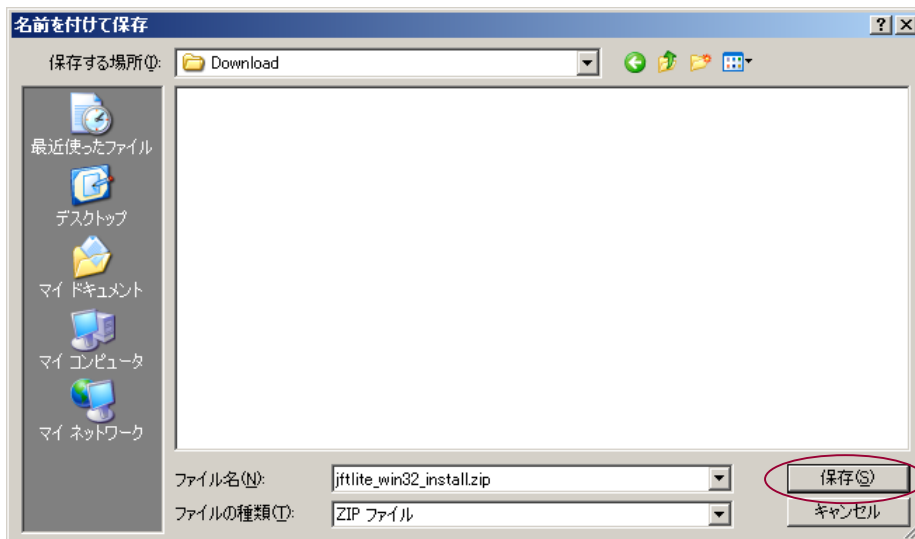
8. Centerフォルダできたことを確認後、再度アイコンを押すと「新しいフォルダ」が再度作成されます。そのまま「Download」と入力して下さい。

※Centerフォルダは後の25ページの設定で使用しますので、必ず作成しておいて下さい。

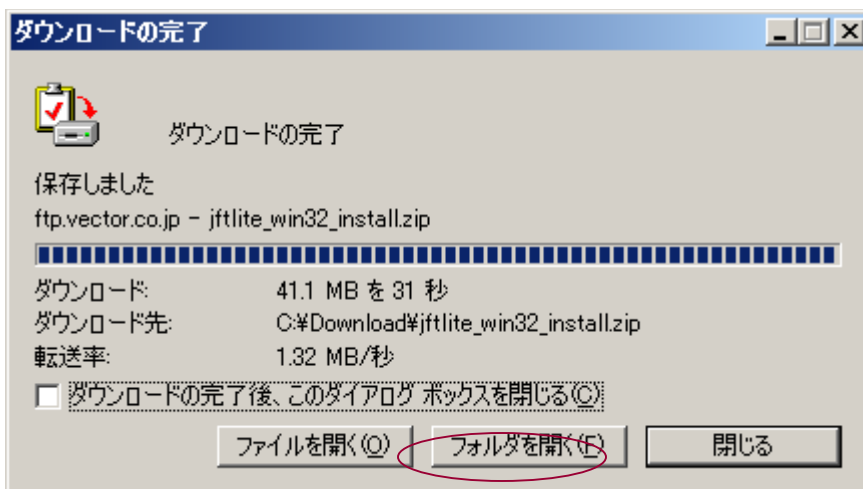
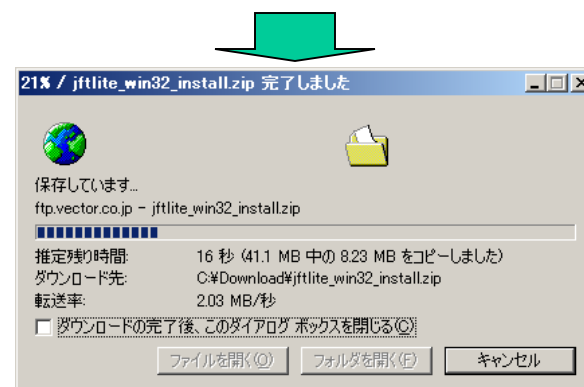


9. Downloadフォルダできたことを確認後、Downloadフォルダをダブルクリックして下さい。

②-6. ダウンロード



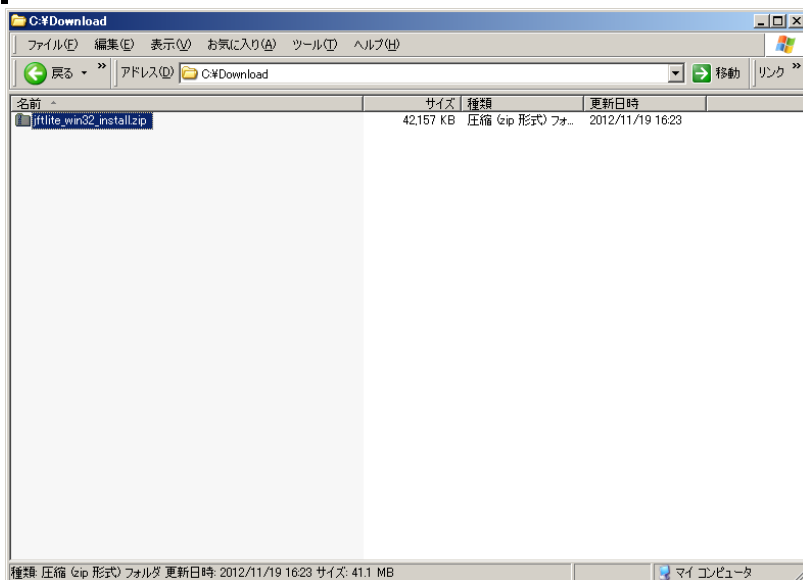
10. 左図の画面になったら、保存を押してください。
ダウンロードが開始されます。



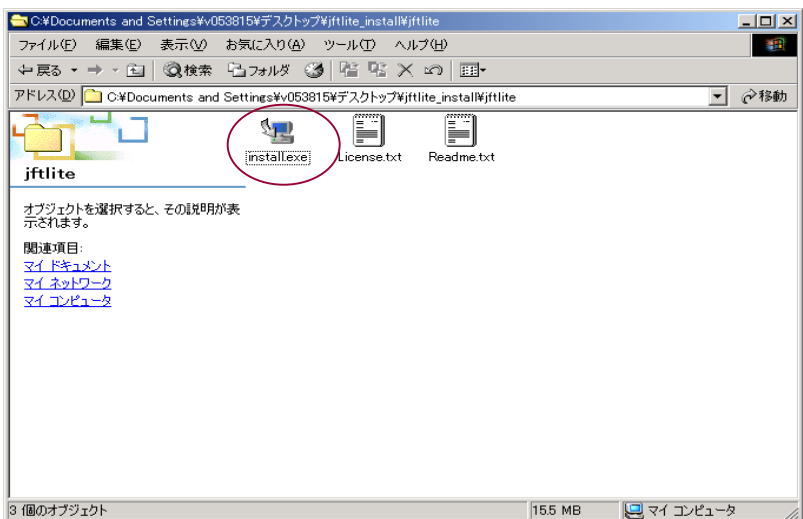
※ダウンロード時間は接続スピードにより変わってきます。
ADSL640Kなら10分程度です。

11. ダウンロード完了後「フォルダを開く」を押してください。

②-7. ダウンロード



12. フォルダを開くと「jftlite_install.zip」というファイルができています。
右クリックメニューの「すべて展開(A)」より zip ファイルを解凍してください。



13. 解凍するとinstall.exeとReadme.txt、License.txtが展開されます。
install.exeをダブルクリックし、インストール作業を行ってください。

②-8. ダウンロード

操作説明書ダウンロード

マニュアルについて
JFT/Lite のインストール (PDF形式) です。
-「インストール説明書」
-「機能説明書」
-「フロントインターフェース解説書」

ダウンロードフォームの入力

ご入力いただけますとお客様の個人情報は、お客様の選定にご回答を差し上げるために使用いたします。
個人情報の取り扱いにつきましては、[こちら](#)にもご記載しております。
ダウンロード後、下記の内容に必要項目を入力して下さい。
※印は必須入力項目です。

製品/資料名	JFT/Lite 2.4.1インストール説明書
※お名前(姓)	<input type="text"/>
※お名(名)	<input type="text"/>
※会社・組織名	<input type="text"/>
※部署名	<input type="text"/>
※郵便番号	<input type="text"/>
※郵便番号	〒1105-0002
※都道府県	▼ 都道府県をお選びください ▼
※市区町村・ビル名	<input type="text"/>
※お電話番号	TEL:03-5404-0239
FAX番号	TEL:03-5404-0888
※メールアドレス	<input type="text"/>

ダウンロードへ

お客様情報の記入

14. インストールマニュアルをダウンロードする場合
②-1.で「JFT/Lite 2.4.1 インストール説明書」
をクリックすると表示される左記の入力フォームへ
お客様情報をご入力頂きます。
※全て必須入力項目になります。

15. 入力後、「ダウンロードへ」を押していただくと下図の
ページへ移行します。「ダウンロード」ボタンより
マニュアルをダウンロードしてください。

EDJデータ交換ミドルウェアJFTは、信頼性・耐障害性に優れた集配パッケージです。
JFT is an EDI middleware package, supporting business of the IT generation.
お問い合わせ | サイトマップ | TOKAI Communications

ダウンロード情報

LOCATION HOME >> ダウンロード >> ダウンロードフォーム

CONTENTS

- HOME
- TOPICS
- 製品情報
 - JFT/SaaS
 - JFT/Server WARP
 - JFT/Server
 - JFT/Lite
- 導入実績

操作説明書ダウンロード

JFT/Lite 2.4.1「インストール説明書」

説明	JFT/Liteのインストールマニュアルです。(PDF形式)
サイズ	2059.7KB
更新日	2012.4.27

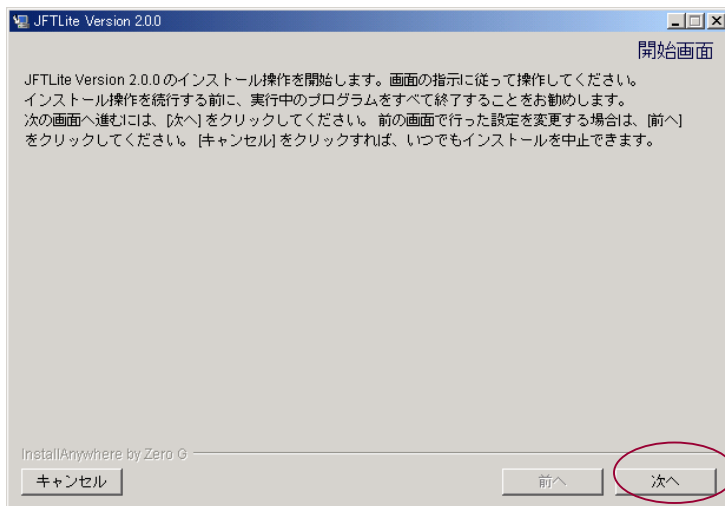
③-1. JFT/Lite インストール



1. JFT/Liteのインストーラ(install.exe)を実行して下さい。

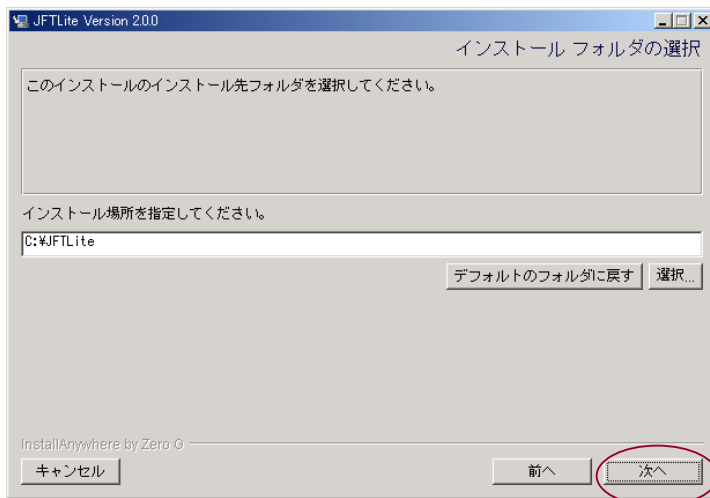
※インストール準備が整うと左のような画面が表示されます。

2. 「OK」ボタンを押して下さい。



3. 「次へ」ボタンを押して下さい。

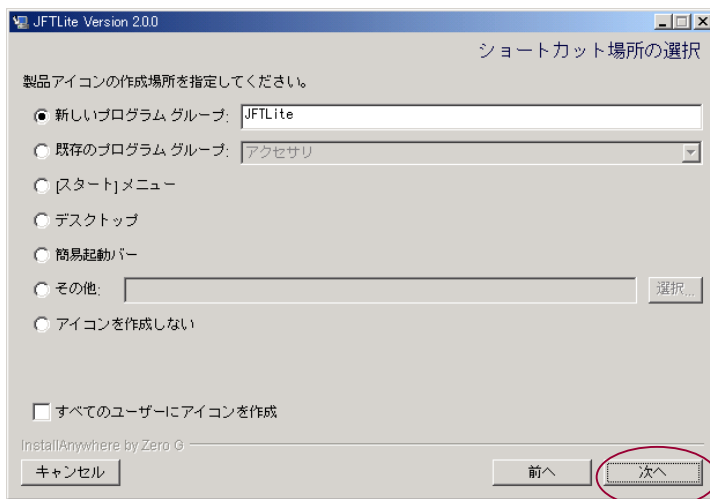
③-2. JFT/Lite インストール



4. 「次へ」ボタンを押して下さい。

C:\JFTLiteにインストールします。

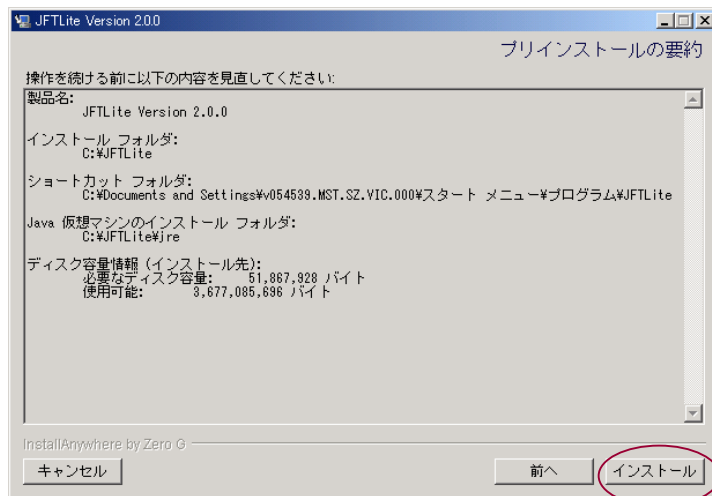
※インストール場所を変更したい場合は参照ボタンを押してフォルダを選択して下さい。



5. 「次へ」ボタンを押して下さい。

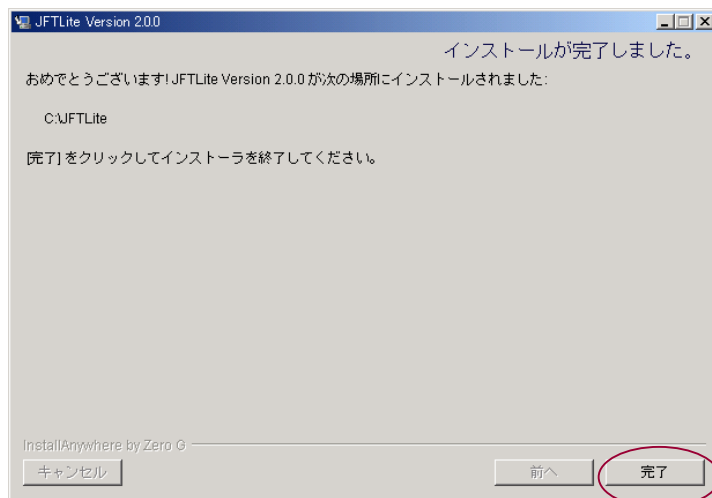
※”新しいプログラムグループ“を選択します。

③-3. JFT/Lite インストール



6. 「インストール」ボタンを押して下さい。

※インストールを開始します。



7. 「完了」ボタンを押して下さい。

※インストールを終了します

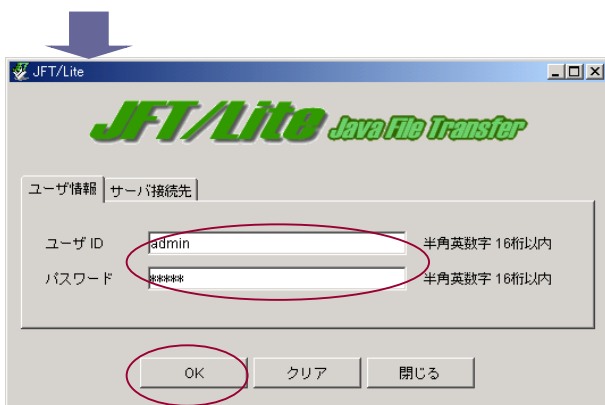
④JFT/Lite 起動(JFT/Lite初期設定の開始)



JcServer



JcMonitor



1. デスクトップ(画面)上の「JcServer」アイコンをダブルクリックして下さい。

※アイコンはデスクトップ上にあります。

※左のようなダイアログが表示されます。表示されない場合は、タスクバーを確認して下さい。

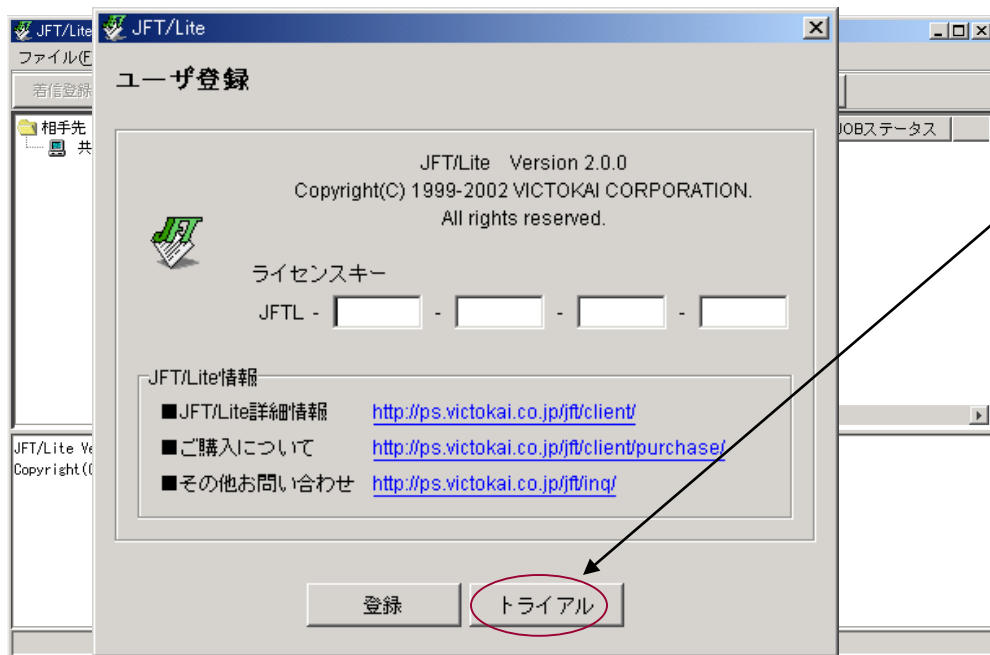
2. デスクトップ上の「JcMonitor」アイコンをダブルクリックして下さい

※アイコンはデスクトップ上にあります。

※左のようなダイアログが表示されます。

3. ユーザIDに”admin”、パスワードに”admin”を入力し「OK」ボタンを押します。(半角入力です)

⑤-1. ユーザ登録(トライアルの場合)



ユーザ登録画面が出たら、「トライアル」ボタンを押して下さい。
この時点でライセンスキーの入力は必要ありません。

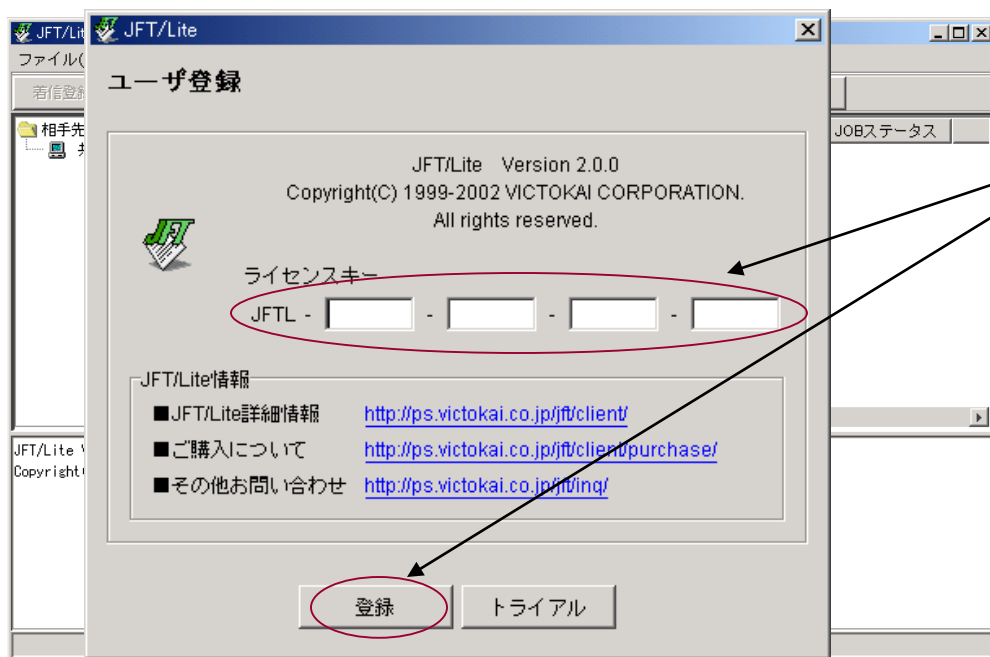
※トライアルは30日間限定となります。

30日以内にライセンスキーを取得していただき、ユーザ登録を行ってください。

※30日以内にユーザ登録を行わない場合は使用できなくなりますのでご注意ください。

トライアルでのご利用中は、JFT/Lite起動時に毎回このユーザ登録画面がでてきます。
ユーザ登録後はこの画面は出てきません。

⑤-2. ユーザ登録(ライセンスキーを取得した場合)



弊社よりライセンスキーを取得された場合、ライセンスキーを入力し「登録」ボタンを押します。
これでユーザ登録は完了です。

※ライセンスキーの取得方法につきましては、
52ページをご参照下さい。

※トライアル実行日から30日間過ぎていた場合は、JFT/Liteを最初にアンインストールし、再度インストールから行っていただきます。
(初期設定も再度行う必要があります)

トライアル期間中(30日以内)にユーザ登録を行っていただければ、再設定の必要はなく、そのままご利用いただけます。

ライセンスキーの取得には数日かかりますので、早めに行ってください。

⑥-1. 接続相手先情報設定 (共通商品コードセンタ)

“相手先”を右クリックして「新規作成」→「相手先」を選択して下さい。
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※タブを押し「全銀手順」と「接続情報」の2画面について設定を行います。

⑥-2. 接続相手先情報設定(共通商品コードセンタ)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	相手先名	共通センタ
全銀手順	相手センタコード	利用通知書の12番「相手センタ確認コード」 ※HEX入力(右にあるHEXを指定して下さい)
	当方センタコード	利用通知書の13番「当方センタ確認コード」 ※HEX入力(右にあるHEXを指定して下さい)
	全銀パスワード	利用通知書の14番「パスワード」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	手順タイプ	利用登録依頼書の9番「全銀プロトコル伝送手順」
接続情報	IPアドレス1	利用通知書の10番・11番 ホスト名、ドメイン名、もしくはセンタIPアドレス
	マルチファイル	無効
	再送区分	有効
	ファイル成立タイミング	ファイル単位
	最大テキスト長	261
	MAXリトライ回数	0
	リトライインターバル	3

ホスト名がTEST、ドメイン名が
TOKAICOM. CO. JPの
場合は、TEST. TOKAICOM.
CO. JPと指定します

⑦-1. 送信ファイル情報設定

(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

The screenshot shows the JFT/Lite application interface. At the top, there are menu items: ファイル(F), 編集(E), 表示(V), システム運用(S), 業務運用(B), ヘルプ(H). Below the menu is a toolbar with buttons: 若信登録, 発信登録, ステータス更新, 状況照会, ログ照会, クリーンナップ, ヘルプ. The main area is divided into two panes: 相手先 (with 共通センタ) and ファイル (with 業信 and 配信 folders). A callout points to the 配信 folder with the text: “配信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。 ※下のような画面が表示されます。 Below this are two overlapping windows titled “ファイル情報”. The left window has tabs: 全銀手順 (circled in red), ファイル属性, 後続連携. The right window has tabs: 全銀手順 (circled in red), ファイル属性 (circled in red), 後続連携. Both windows show fields for 集配信区分 (配信), 全銀手順, ファイル属性 (with radio buttons for HEX and 半角), レコード属性 (固定長), レコード長 (256), and 物理ファイル名 (C:\Centerisend_master.bt). At the bottom of each window are buttons: OK (circled in red), 閉じる, リセット. A callout points to these buttons with the text: 設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい.

“配信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※タブを押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

⑦-2. 送信ファイル情報設定

(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	送信マスタ
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コードデータ送信用」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	256
	物理ファイル名	C:¥Center¥send_master.txt

※送信する際に予め C:¥Centerフォルダに send_master.txt という名前で送信したいファイルを保存しておく必要があります。

⑧-1. エラーファイル情報設定 (卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

”集信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※タブを押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

⑧-2. エラーファイル情報設定 (卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	エラー情報
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コードエラーファイル受信用」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」 ※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	256
	物理ファイル名	C:¥Center¥error.txt

※上記設定で C:¥Center フォルダに error.txt という名前で受信したエラーファイルが保存されます。

⑨-1. 受信ファイル情報設定

(POS実施店及び卸、メーカー様で商品マスタを受領の場合)

”集信”を右クリックして「新規作成」を選択して下さい。
※下のような画面が表示されます。

次ページの設定内容に従って設定して下さい。

設定し終わったら「OK」ボタンを押して下さい。

※タブを押し「全銀手順」と「ファイル属性」の2画面について設定を行います。

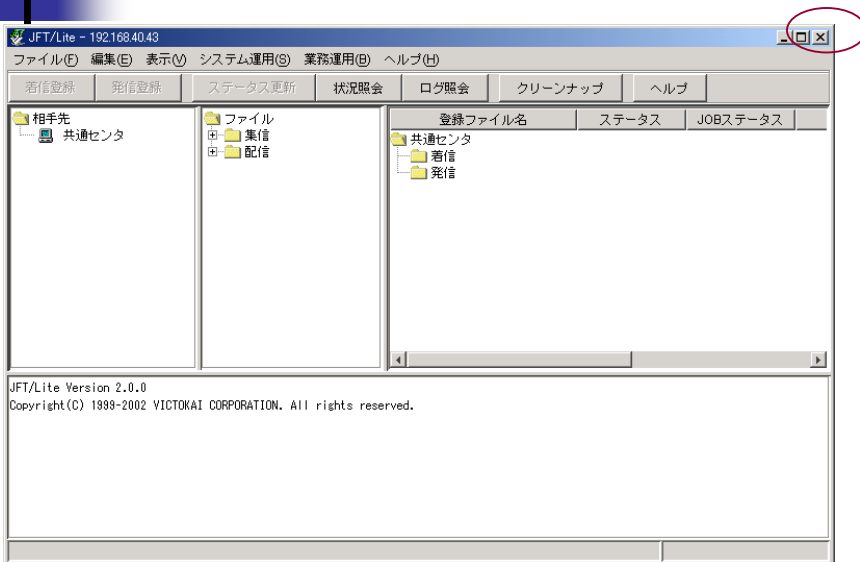
⑨-2. 受信ファイル情報設定

(POS実施店及び卸、メーカー様で商品マスタを受領の場合)

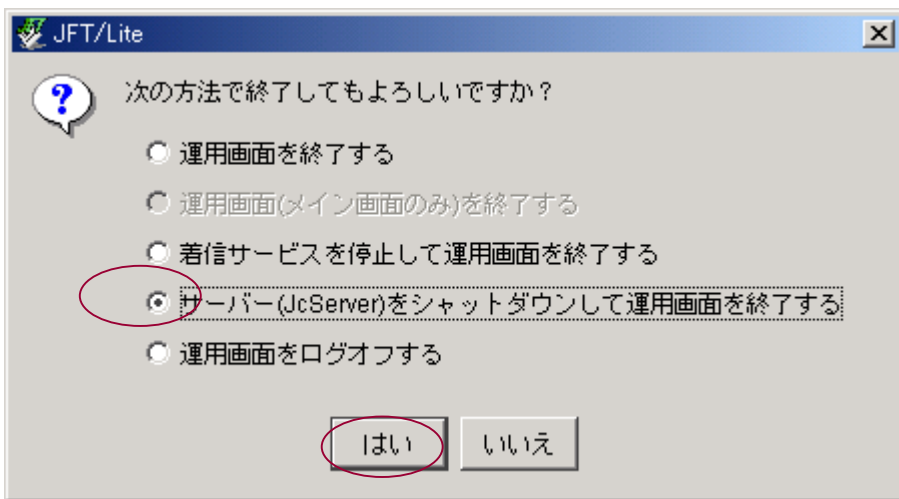
タブ名	JFT/Lite設定項目	設定内容(入力内容)
共通	ファイル名	受信マスタ
全銀手順	プロトコル上ファイル名	利用通知書の15番「ファイル識別コードデータ受信用」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
	ファイル名補助情報	未設定
	ファイルアクセスキー	利用通知書の16番「ファイルアクセスキー」※半角入力(右にある半角を指定して下さい)
ファイル属性	ファイル属性	ストリーム
	レコード属性	固定長
	圧縮区分	無効
	レコード長	256
	物理ファイル名	C:¥Center¥recv_master.txt

※上記設定で C:¥Center フォルダに recv_master.txt という名前で受信したいファイルが保存されます。

⑩ パソコンへJFT/Lite設定の完了



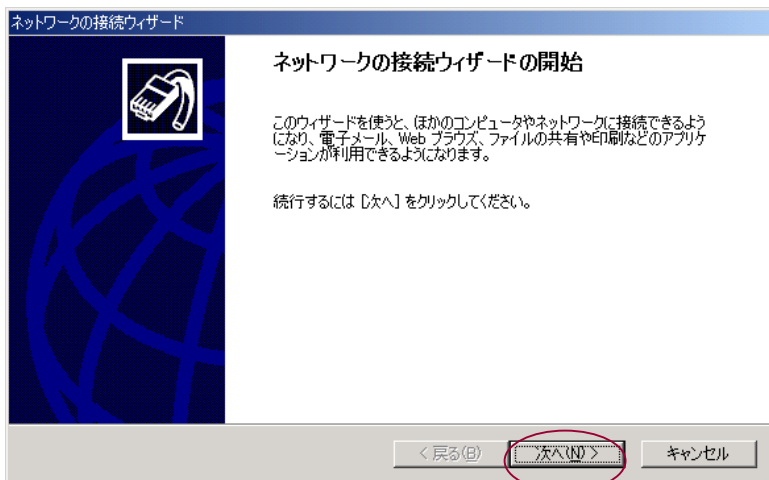
1. ウィンドウ右上の「×」を押して下さい。



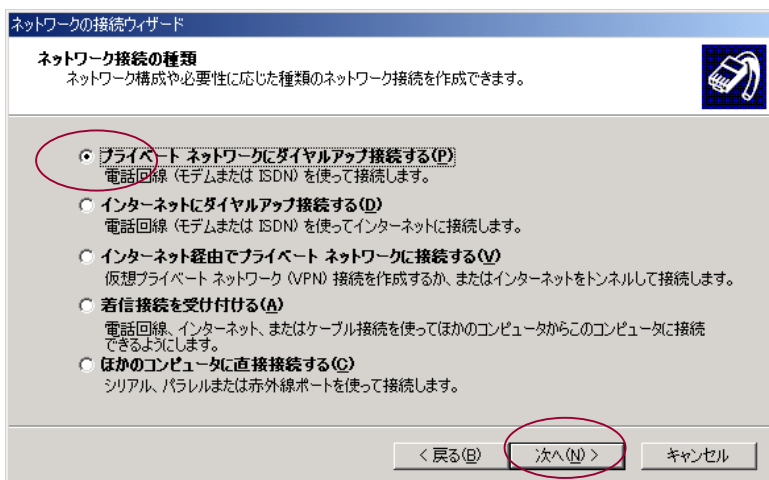
2. “サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する”を選択して「はい」ボタンを押して下さい。

※”サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する“を選択せずに終了してしまった場合は、Windowsの「スタート」メニューから「スタート」→「プログラム」→「JFTLite」→「Stop JcServer」を選択して下さい。

⑪-1. ダイアルアップの設定



1. Windowsのスタートメニューから「スタート」→「設定」→「ネットワークとダイアルアップ接続」→「新しい接続の作成」を選択して下さい。
2. 「次へ」ボタンを押して下さい。



3. “プライベートネットワークにダイヤルアップ接続する”を指定して下さい。
4. 「次へ」ボタンを押して下さい。

⑪ -2. ダイヤルアップの設定

ネットワークの接続ウィザード

ダイヤルする電話番号
接続先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を指定してください。

接続する先のコンピュータまたはネットワークの電話番号を入力してください。コンピュータにほかの場所からのダイヤル方法を自動的に判断させるには、「ダイヤル情報を使う」チェックボックスをオンにします。

市外局番(A): 電話番号(B):

国番号/地域番号(C):

ダイヤル情報を使う(D)

< 戻る(B) > **次へ(N) >** キャンセル

ネットワークの接続ウィザード

接続の利用範囲
新しい接続をすべてのユーザー用、または自分専用指定できます。

この接続をすべてのユーザー用または自分専用指定できます。自分専用のプロファイルに格納した接続は、あなたがログオンしたときだけ利用できます。

この接続を利用できるユーザーを指定してください。

すべてのユーザー(E)
 自分のみ(F)

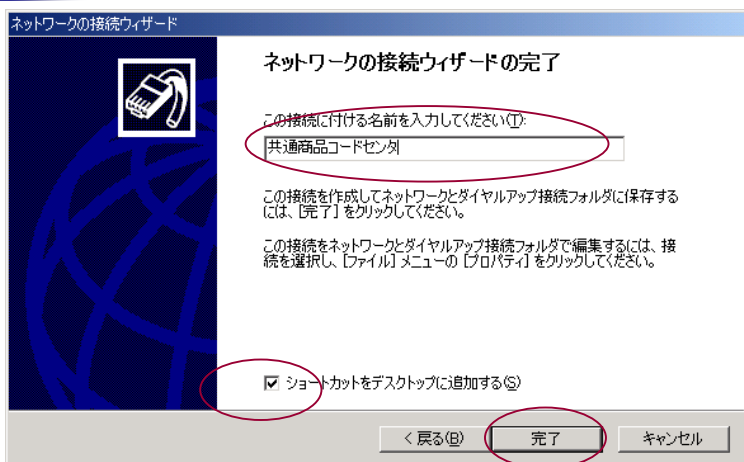
< 戻る(B) > **次へ(N) >** キャンセル

5. 電話番号に利用通知書の5番「アクセスポイント地区、回線番号」を入力して下さい。

6. 「次へ」ボタンを押して下さい。

7. 「次へ」ボタンを押して下さい。

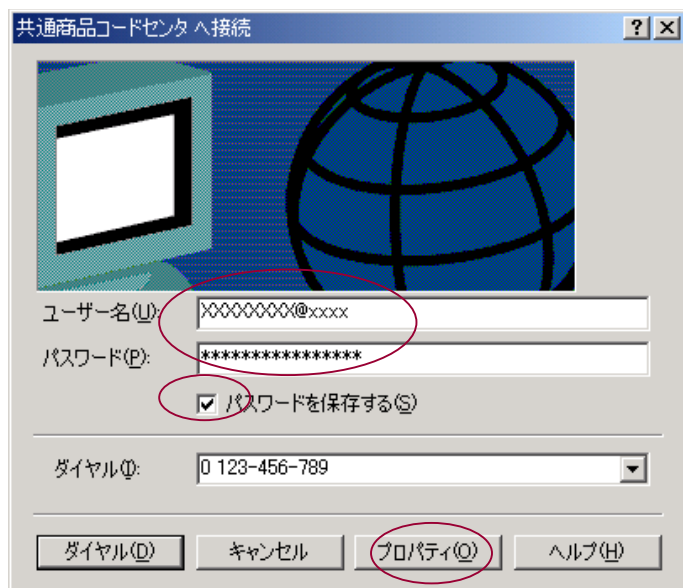
⑪ -3. ダイアルアップの設定



8. 名前を“共通商品コードセンタ”と入力して下さい。

9. “ショートカットをデスクトップに追加する”をチェックして下さい。

10. 「完了」ボタンを押して下さい。



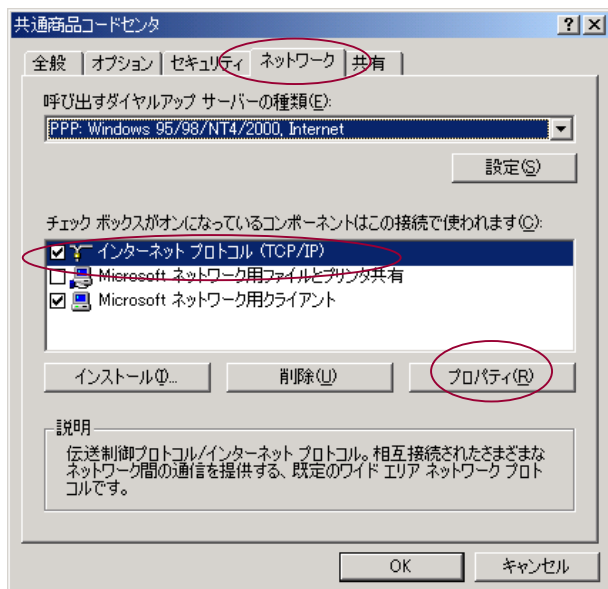
11. ユーザ名に利用通知書の8番「ユーザID」を入力して下さい。

12. パスワードに利用通知書の9番「パスワード」を入力して下さい。

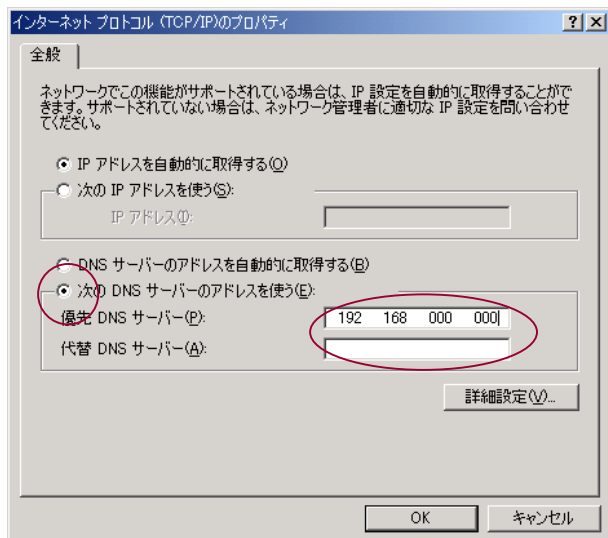
13. パスワードを保存するをチェックして下さい。

14. 「プロパティ」ボタンを押して下さい。

⑪ -4. ダイアルアップの設定



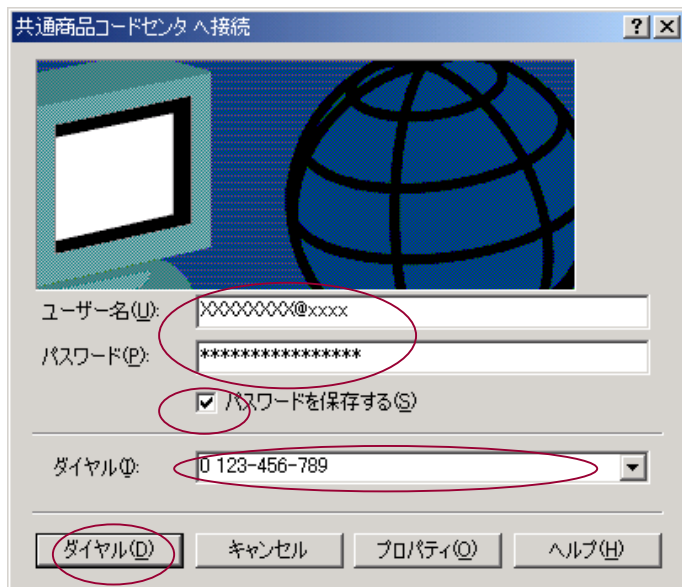
15. “ネットワーク”タブを選択し、“インターネットプロトコル(TCP/IP)”が選択し、「プロパティ」ボタンを押して下さい。



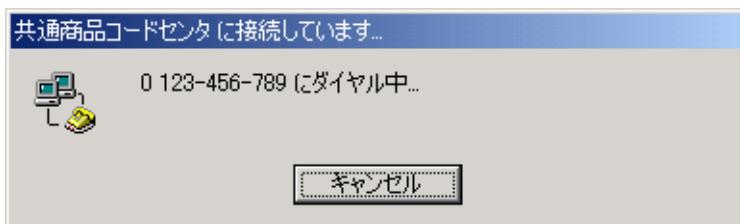
16. “次のDNSサーバアドレスを使うのラジオボタン”を選択し、利用通知書の7番「DNSサーバアドレス」を入力して下さい。

17. 設定し終わったら「OK」ボタンを押して、この2つの画面を終了させます。

⑪ -5. ダイアルアップの設定



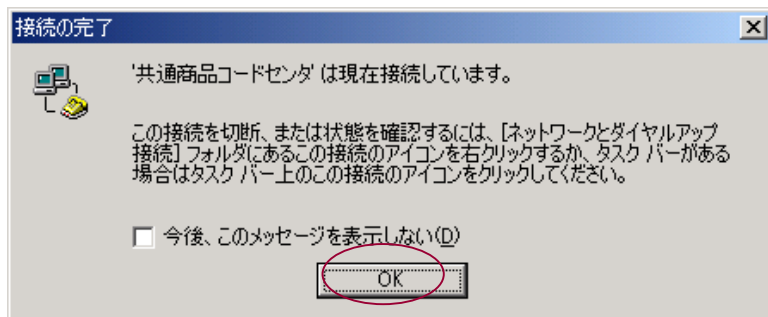
18. 先に入力したユーザ名、パスワード、ダイヤル番号を確認して「ダイヤル」ボタンを押して下さい。



19. 接続の確認を行います。

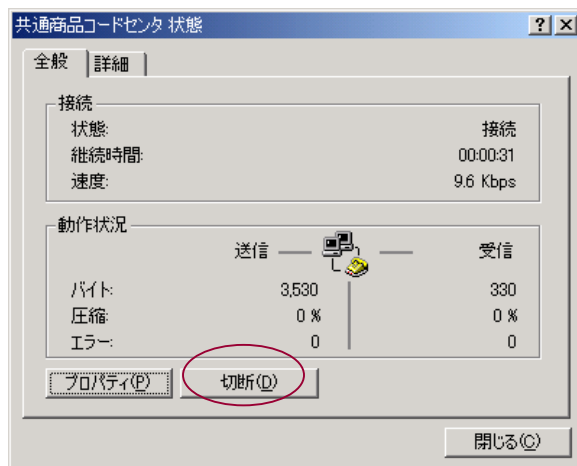
※接続エラーになった場合は、もう一度設定を確認して下さい。


⑪ -6. ダイアルアップの設定



20. 接続が完了すると、左のようなダイアログが表示される場合がありますので「OK」ボタンを押して下さい。

※タスクバー上にこの接続のアイコンが表示されます。



21. 切断する場合は、タスクバー上のこの接続のアイコン  をクリックして下さい。

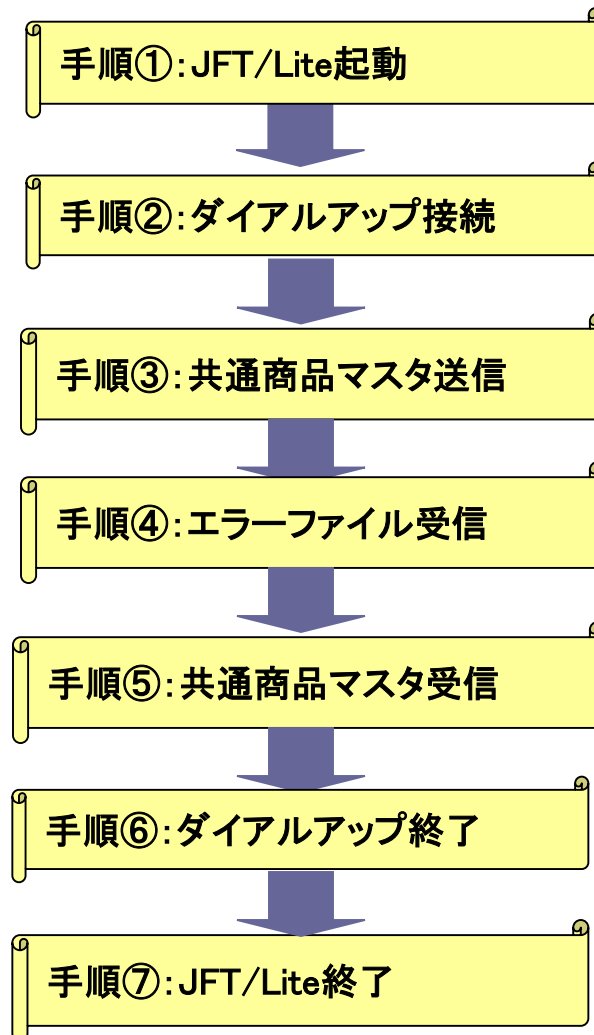
22. 「切断」ボタンを押して下さい。

23. ご苦労様でした。

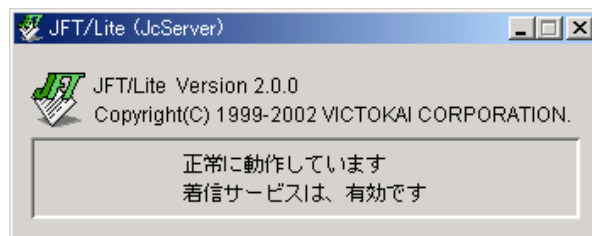


運用編

運用手順



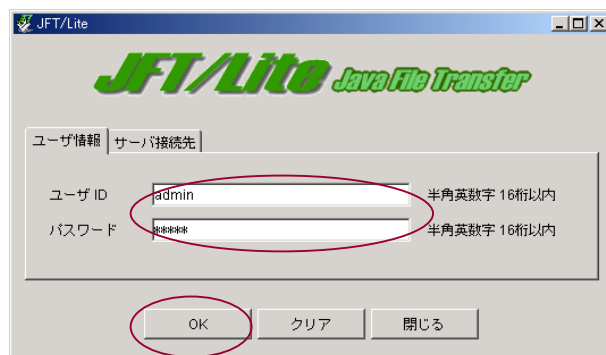
①JFT/Lite 起動



1. デスクトップ上の「JcServer」アイコンをダブルクリックして下さい。

※アイコンはデスクトップ上にあります。

※左のようなダイアログが表示されます。表示されない場合は、タスクバーを確認して下さい。



2. デスクトップ上の「JcMonitor」アイコンをダブルクリックして下さい

※アイコンはデスクトップ上にあります。

※左のようなダイアログが表示されます。

3. ユーザIDに”admin”、パスワードに”admin”を入力し「OK」ボタンを押します。(半角入力です)

②-1. ダイヤルアップ接続方法



共通商品コードセンタ



共通商品コードセンタへ接続

ユーザー名(U): XXXXXXXXXXXX@xxxx

パスワード(P): *****

パスワードを保存する(S)

ダイヤル(D): 8-123-456-789

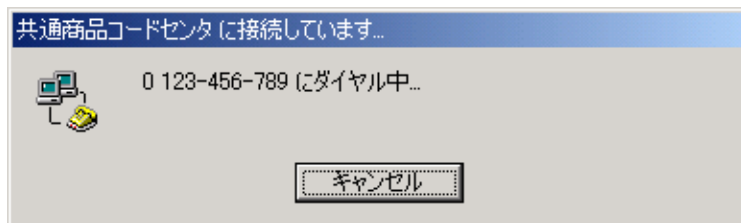
ダイヤル(D) キャンセル プロパティ(O) ヘルプ(H)

1. デスクトップ上の共通商品コードセンタのアイコンをダブルクリックして下さい。

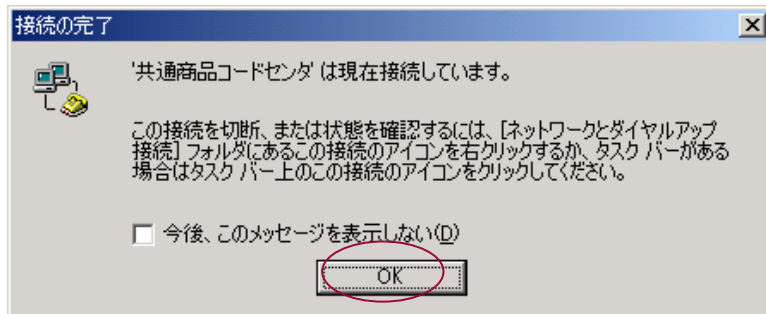
2. ユーザ名、パスワード、ダイヤルを確認してから「ダイヤル」ボタンを押して下さい。

※設定内容は利用通知書でご確認下さい。


②-2. ダイアルアップ設定



3. 接続を行っています。

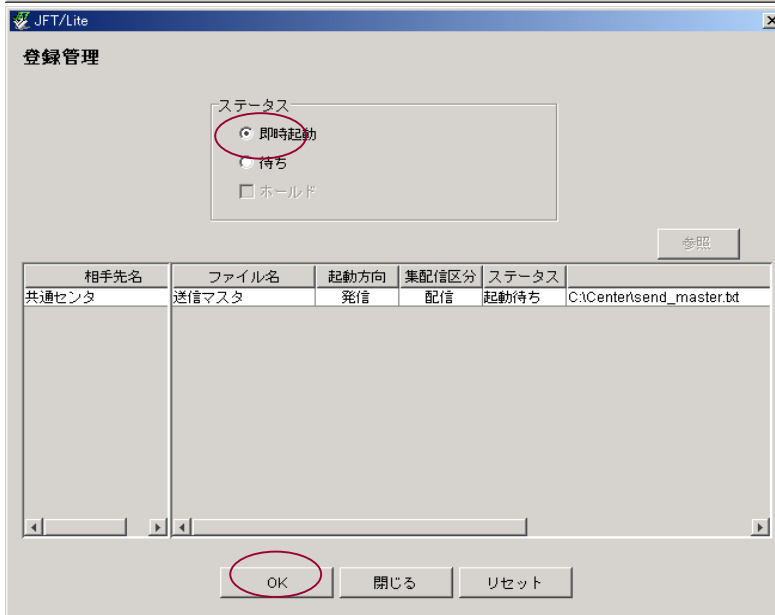
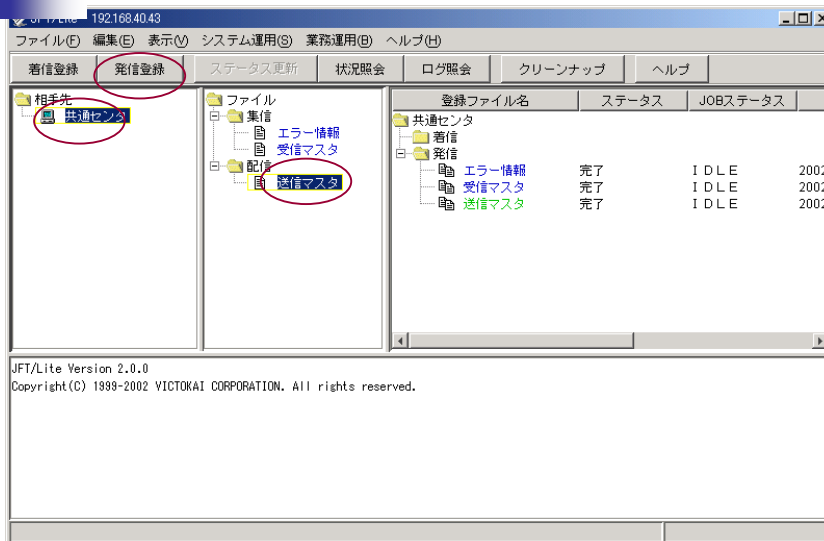


4. 接続が完了すると、左のようなダイアログが表示される場合がありますので「OK」ボタンを押して下さい。

※タスクバー上にこの接続のアイコン  が表示されます。

③共通商品マスタ送信方法

(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)

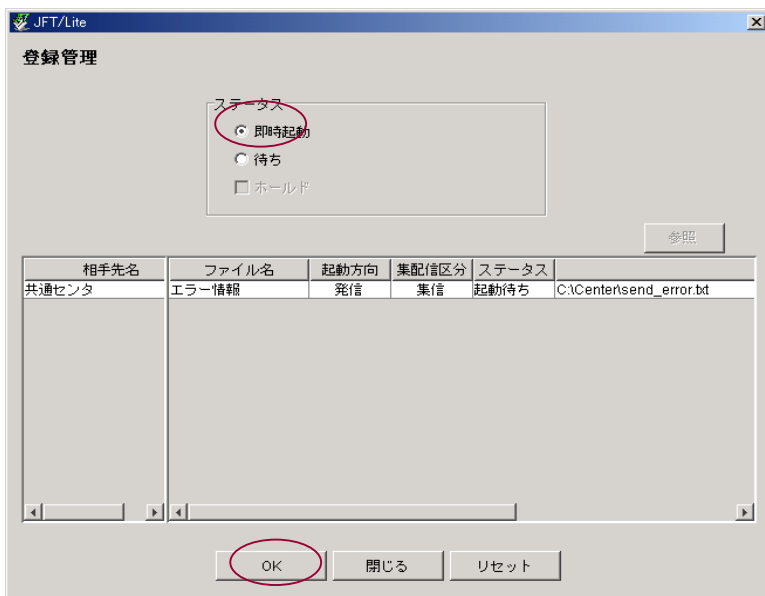
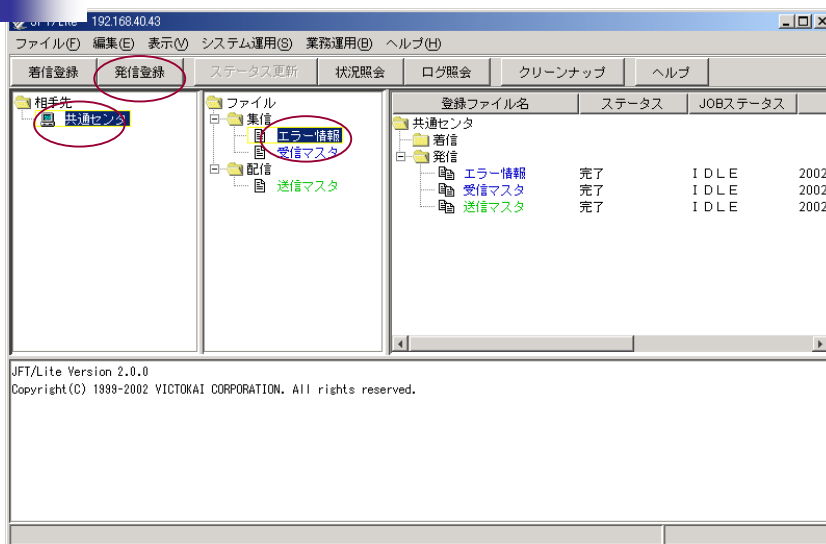


1. 送信する前に送信ファイルをC:\Centerフォルダにsend_master.txtという名前で保存して下さい。
2. “共通センタ”と“送信マスタ”を選択して「発信登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 送信完了後センターへ正しく登録されたか確認のため、次ページを参照しエラーファイルの受信確認を必ずしてください。

※エラーファイルの受信確認はファイル送信後数分後に実施してください。

④エラーファイル受信方法

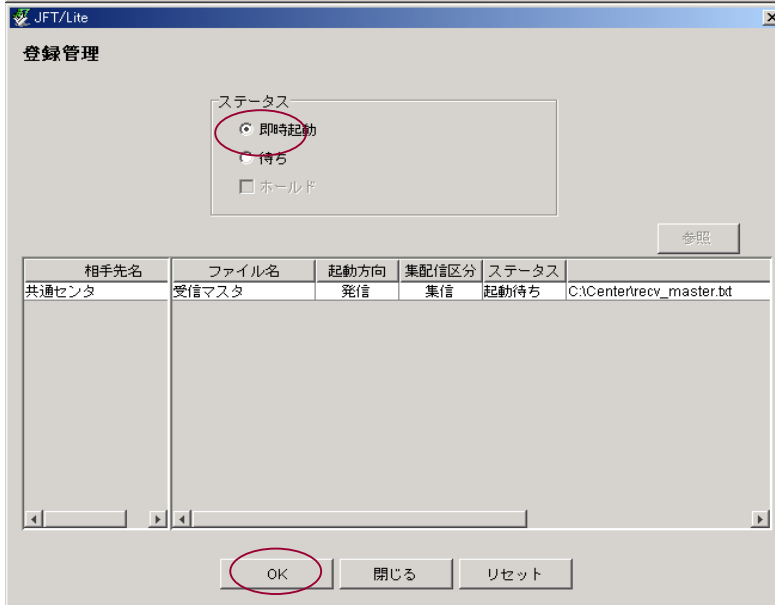
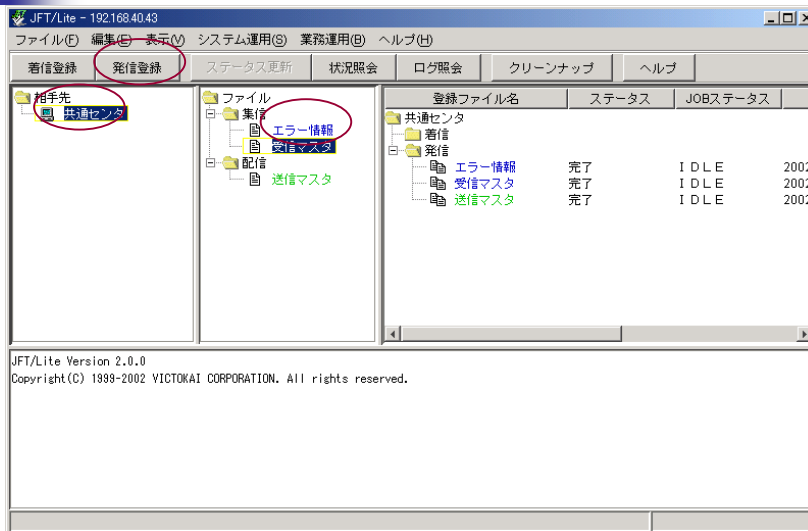
(卸、メーカー様で共通商品マスタへ登録の場合)



1. 受信する前にC:¥Centerフォルダにerror.txtという名前のファイルが無いことを確認してください。
2. “共通センタ”と“エラー情報”を選択して「発信登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 受信したファイルは、ファイル情報で指定したC:¥Centerフォルダにerror.txtの名前で保存されます。
5. C:¥Centerフォルダにerror.txtが無ければ、前ページで送信したマスタのセンタ登録が成功しています。
※エラーファイルが有る場合はファイルの中身を確認し、対応してください。

⑤ 共通商品マスタ受信方法

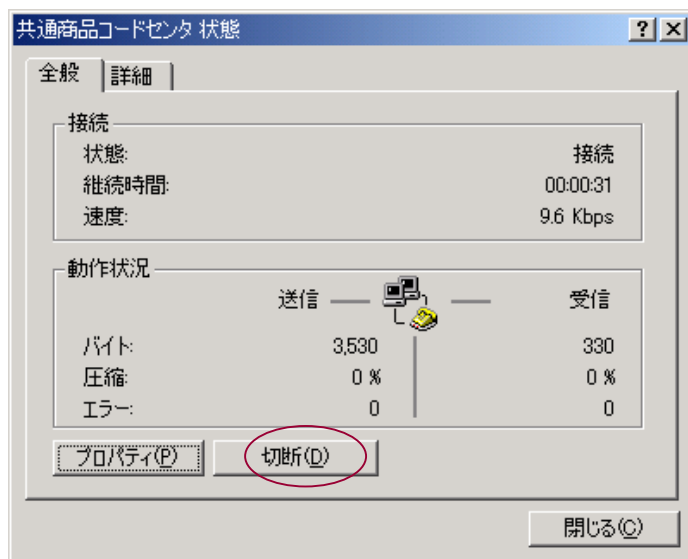
(POS実施店及び卸、メーカー様で商品マスタを受領の場合)




1. 受信する前にC:¥Centerフォルダにrecv_master.txtという名前のファイルが無いことを確認してください。
2. “共通センタ”と“受信マスタ”を選択して「発信登録」ボタンを押して下さい。
3. “即時起動”を選択して「OK」ボタンを押して下さい。通信が開始されます。
4. 受信したファイルは、ファイル情報で指定したC:¥Centerフォルダにrecv_master.txtの名前で保存されます。

※再度発信登録を行うと当ファイルを上書きしますので注意して下さい。

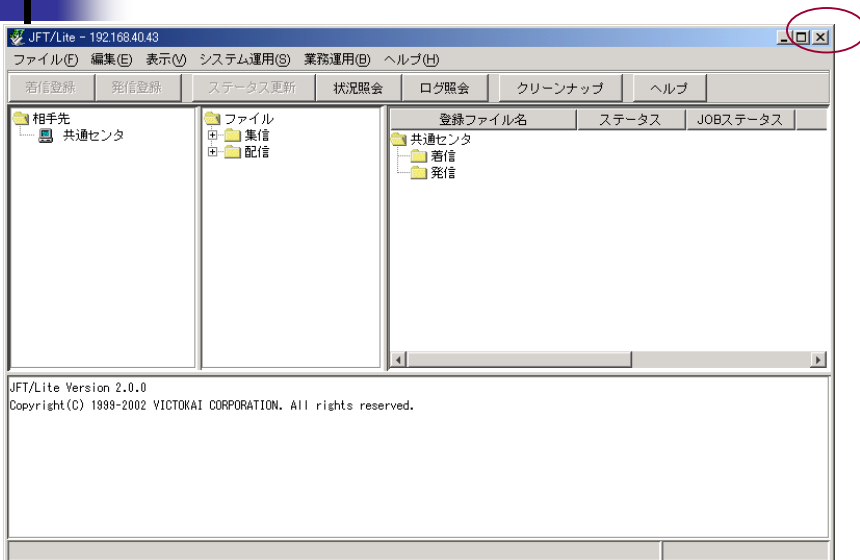
⑥ダイアルアップの終了



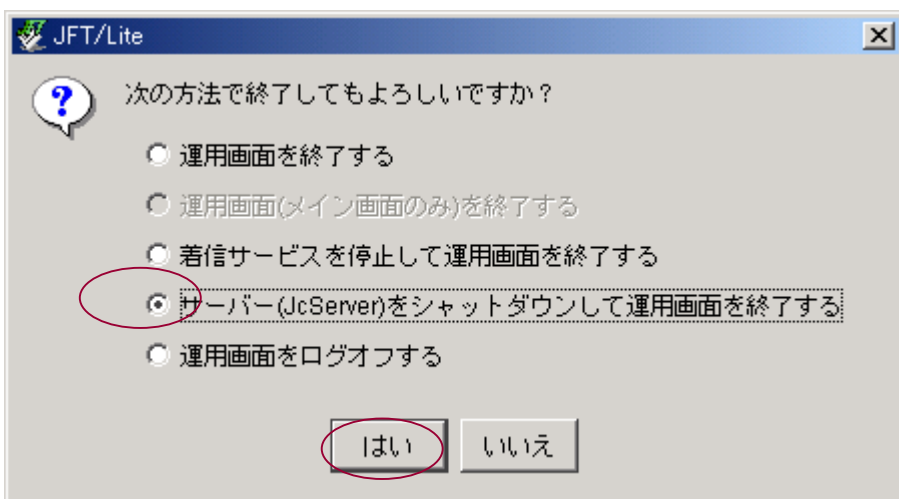
1. 切断する場合は、タスクバー上の接続アイコン  をクリックして下さい。
2. 「切断」ボタンを押して下さい。

**※マスタファイルの送受信が終了後、必ず上記切断作業を行ってください。
切断作業を行うまで、電話料金が加算されておりますので、ご注意ください。**

⑦JFT/Liteプログラムの終了



1. ウィンドウ右上の「×」を押して下さい。



2. “サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する”を選択して「はい」ボタンを押して下さい。

※”サーバ(JcServer)をシャットダウンして運用画面を終了する“を選択せずに終了してしまった場合は、Windowsの「スタート」メニューから「スタート」→「プログラム」→「JFTLite」→「Stop JcServer」を選択して下さい。

マスタファイルについて

商品共通マスタファイルは送信、受信とも固定長256バイトのテキスト形式ファイルとなります。

メモ帳等のテキストエディタで、参照することは可能です。

マスタファイルを手動で作成するにはエクセル等の表計算ソフトでフォーマット通りに入力後、マクロを用いて256バイトのテキストファイルに変換する方式があります。簡易なマクロ(VBA)についてはツール(エクセルファイル)としてご提供する予定です。

(ユーザ様の業務ホストでマスタファイルを作成される場合は必要ありません)

なお、受信したマスタファイルの取込については、ユーザ様にてご対応いただきますようお願いいたします。

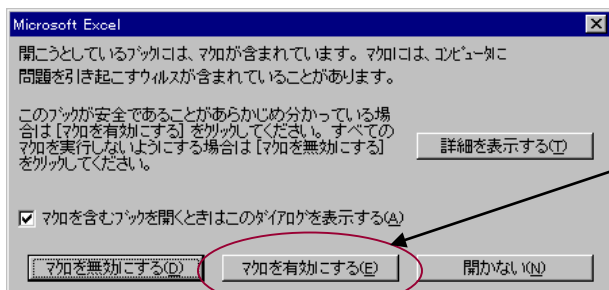
※本サービスの詳細な内容は、共通商品コードセンタ発行の商品マスタ送受信サービス仕様書をご参照ください。

※簡易マスタ作成ツールについては次ページをご参照ください。

※データフォーマットについて商品マスタ送受信サービス仕様書をご参照ください。

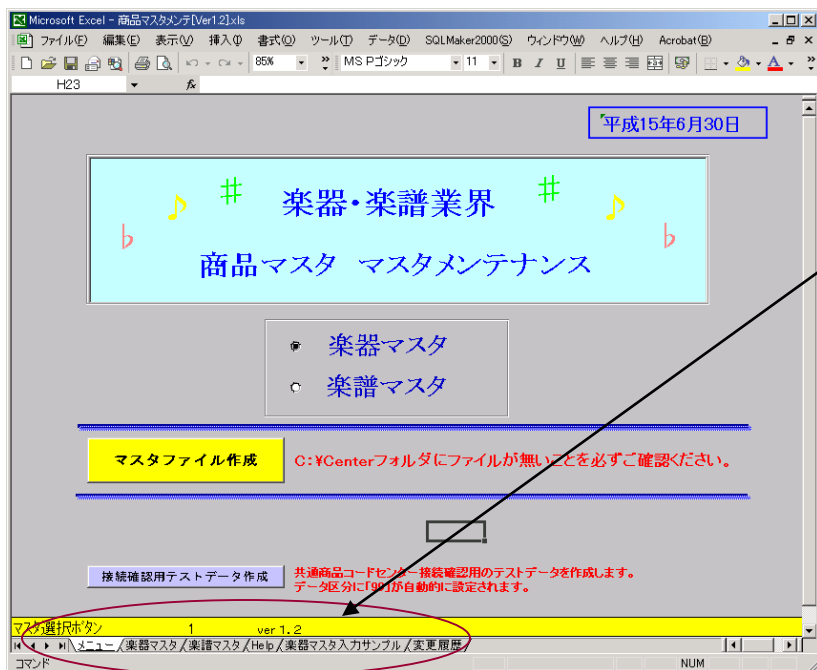
1. EXCELから簡易に商品マスタを作成するツールご紹介

1. 弊社で用意しました、エクセルのファイル(ファイル名 楽器マスタメンテ.xls)を起動してください。



2. マクロ形式のため左の画面が起動時に出ますが「マクロを有効にする」をクリックしてください。

※エクセルのセキュリティレベルが中の場合に出る画面です。セキュリティレベルの変更はエクセルのヘルプをご参照ください。

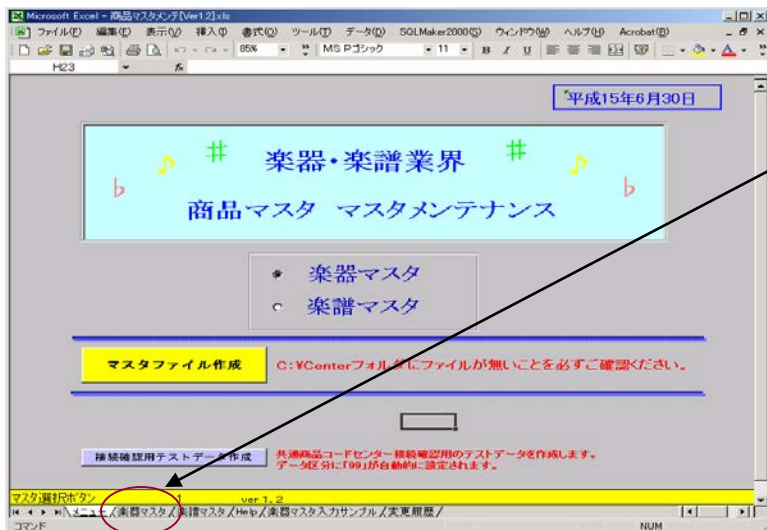


3. 左のような画面が現れます。左下のシート選択タブをクリックすると、各画面に移動します。

メニュー	ファイル作成を指示するメイン画面(左図)
楽器マスタ	楽器のマスタファイルを作成します
楽譜マスタ	楽譜のマスタファイルを作成します
Help	マスタ入力に当たっての規約を表示

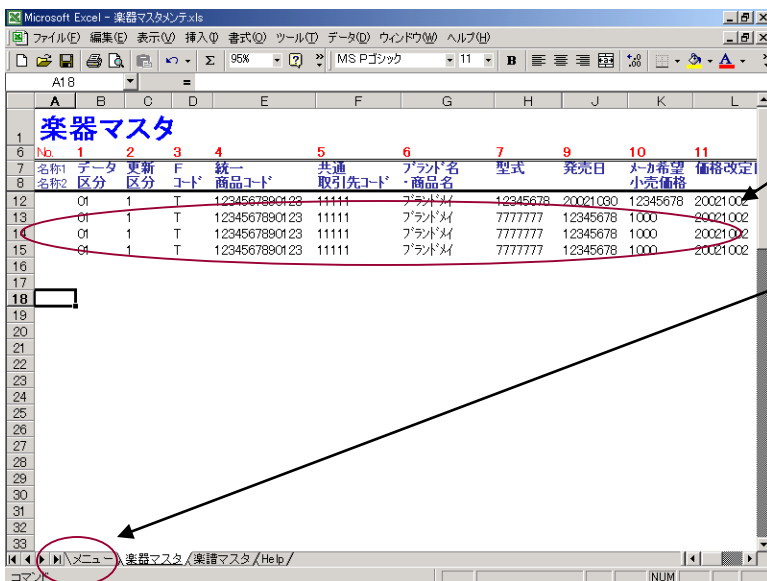
※Helpは通常は使用しません。

2. ツールご紹介



4. まず左画面の「楽器マスタ」タブを選び、楽器マスタ作成画面(下画面)に移ります。

※楽譜マスタを作成する場合は、「楽譜マスタ」タブをクリックします。



5. 左画面で各項目にしたがって、マスタ登録内容を入力していきます。

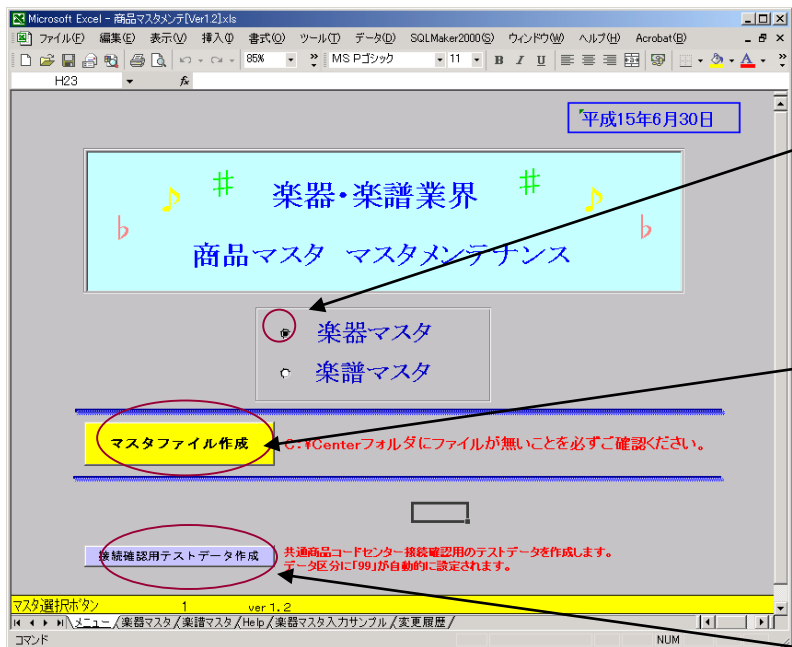
6. 全ての内容を登録し終わったら、「メニュー」タブを選びメニュー画面に戻ります。

※1行につき1マスタの登録となります。

※入力数が、項目桁数より少ない場合でも、スペースで埋める必要はありません。

※登録内容のチェック機能はありませんので、正確に入力をお願いいたします。

3. ツールご紹介



7. メニュー画面に戻ったら、楽器マスタのチェックをクリックします。

※楽譜マスタの場合は、楽譜マスタチェックをクリックします。

8. ファイル作成ボタンを押すと、先ほど入力した内容が、C:\¥Centerフォルダに「send_master.txt」という名前でテキストファイルとして保存されます。

以上の手順でマスタファイルの作成が簡単に行えます。

※ 共通商品コードセンターへの接続確認を行うデータを作成する場合、「接続確認用テストデータ作成」をクリックします。

使用上のご注意

- ①ファイル作成ボタンを押す前に、必ずC:\¥Centerフォルダに「send_master.txt」が無いことをご確認ください。ファイルがあった場合は別の場所にファイルを移動させてから、ファイル作成ボタンを押してください。ファイルがあるにも関わらず、ファイル作成ボタンを押した場合、正常にファイルが作成されないばかりか、前のファイルを上書きしてしまいますので十分にご注意ください。
- ②楽器マスタと楽譜マスタの両方を作成される場合は、どちらかのマスタを作成後、JFT/Liteで送信を完了してから、次のマスタを作成してください。(その際も①の注意は必ず守ってください)

ライセンスキー取得方法

1. JFT/Liteライセンスキー取得方法について

JFT/Liteのライセンスキーをご希望の場合には、全国楽器協会殿へご連絡ください。

全国楽器協会殿を通じ、弊社(株式会社TOKAIコミュニケーションズ)よりお客様へご連絡させていただきます。

※ライセンスキー取得は有償となりますのでご了承下さい。

※購入価格につきましては、全国楽器協会殿へお問い合わせください。

2. ご連絡内容について

①弊社よりご連絡させていただく際、下記内容をご確認させていただきますのでご了承ください。

※ご確認内容「会社名、部署名、担当者名、住所、電話番号、e-mailアドレス、ライセンス数、使用OS、CD-ROM必要の有無(別途有償)」

②ご確認から1週間以内に弊社よりライセンスキーと請求書を発送させていただきます。

③弊社より送付しましたライセンスキーを21ページの「ユーザ登録」での画面に入力いただければ、そのまま正規製品版としてお使いいただけます。

3. 弊社窓口について

①弊社営業窓口 株式会社TOKAIコミュニケーションズ 東日本事業部 営業三部 JFT/Lite営業担当

TEL 03-5404-3287 e-mail:jft-info@tokai-grp.co.jp

②製品に関する技術窓口 株式会社TOKAIコミュニケーションズ プロダクトサービス部 JFT/Lite保守担当

TEL 03-5404-3289 e-mail:jft_question@tokai-grp.co.jp